

1. 顕功賞

故武田晴爾氏をはじめ、安全衛生運動の先覚者各位より贈られた寄附をもとにして、昭和46年7月顕功賞基金の制度を設置し、技術の向上および先駆的事績などによって安全衛生の推進に功労著しく、社会的に貢献した個人または団体を表彰するものです(寄附者は8頁に別記)。

向 殿 政 男

明治大学理工学部情報科学科教授 理工学部長兼理工学研究科委員長

機械安全の分野における多年にわたる精力的な研究活動において、事故未然防止の科学的対処法を確立されるとともに、機械の包括的な安全基準に関する指針の構築に多大な貢献をされた。

山 本 宗 平

元労働省産業医学総合研究所長

多年にわたり労働生理分野に関する研究に努められ、産業医学の発展向上に多大な貢献をされるとともに、社会構造の変化や技術革新に伴う新たな労働衛生上の課題に即応した予防対策指針の策定を通じて、働く人々の健康の確保に寄与された。

2. 中央労働災害防止協会会長賞

昭和60年度に創設され、産業安全および労働衛生の推進向上に努め著しい成果を収めるとともに、広く地域または業界に対しても普及啓発に尽くし、顕著な功績が認められる企業等を表彰するものです。

大阪施設工業株式会社

安全を経営の基本理念におき、日本一安全な鉄道工事会社を目指して、ゼロ災害全員参加運動を独自の創意工夫をこらしながら全社的に展開し活発に取り組むなど、職場の安全衛生水準の向上に積極的に努められ、他の企業の模範となる顕著な実績をあげられた。

住友金属工業株式会社

人間尊重の理念に基づき、人と技術を大切にするという考え方のもと、労働災害の絶滅を目指し、労働安全衛生マネジメントシステムの導入・確立をはじめ、職場の安全衛生水準の向上に全事業所をあげて積極的に努められ、他の企業の模範となる顕著な成果をあげられた。

3. 緑十字賞(91名)

長年にわたりわが国の産業安全または労働衛生の推進向上に尽くし、顕著な功績が認められる個人、職域グループ等に対して表彰するものです。

産業安全関係

天 野 和 之

アマノ建設業安全衛生管理指導事務所主宰
中央労働災害防止協会東京安全衛生教育センター RST
外部講師

池 崎 勉

池崎労働安全衛生コンサルタント事務所所長
日本労働安全衛生コンサルタント会常任理事

磯 野 信 雄

(有)テクノソー代表取締役
(社)神奈川労務安全衛生協会本部プレス委員会委員長

伊 東 安 雄

(社)建設荷役車両安全技術協会群馬県支部専務理事

今久保 正 博

ミタニ建設工業(株)取締役総務部長・安全環境対策室長
(社)高知県労働基準協会連合会安全部会委員

入 江 治 喜

富士港運(株)執行役員港運事業部長
港湾貨物運送事業労働災害防止協会東京総支部東京
支部安全推進員

岩 崎 光 男

岩崎運送(株)代表取締役会長
陸上貨物運送事業労働災害防止協会和歌山県支部長

鵜 飼 康 昭

(株)鈴木組安全部担当部長
建設業労働災害防止協会統括管理専門委員会委員

大 後 達 二

ヒロセ(株)安全管理室部長

川 合 定

大阪ガス(株)泉北製造所保安安全チーム副課長
臨海防災協会役員

佐 賀 郁 夫

三協・立山ホールディングス(株)総務本部人事部安全衛生
担当課長
(社)日本アルミニウム協会安全委員会安全委員

下 川 啓 介

(株)神戸製鋼所神戸製鉄所業務部労働室安全健康グ
ループ主任部員
兵庫労働衛生推進協議会会長

曾 根 幸 男

(株)曾根建設代表取締役社長
(社)東京労働基準協会連合会常任理事

祖 山 袈裟雄

(社)長野労働基準協会前専務理事

高 田 久 男

(社)徳島県労働基準協会連合会中小企業安全衛生促進員

高 務 季美則

宮川情報通信(株)京都南総合工事センタ所長
近畿 KYT コーディネーター会

内 藤 博 俊

(株)内藤鍛造所代表取締役

平 井 讓 二

共栄運輸(株)代表取締役社長
陸上貨物運送事業労働災害防止協会千葉県支部長

広 信 元

(株)栗本鉄工所鉄管事業部副事業部長兼技師長
(社)大阪労働基準連合会安全部会委員

古 川 忠 弘

(社)産業安全技術協会関西事務所長

増 森 絹 代

(財)産業教育センター理事・事務局長
指定教習福岡労働局管内連絡会議事務局長

三上 義和

三井化学(株)岩国大竹工場環境安全部環境安全グループリーダー

室岡 修治

(株)サン・ペトロケミカル常務取締役
石油化学工業協会前労働安全衛生専門委員長

森田 眞介

森田労働安全コンサルタント事務所所長
中央労働災害防止協会東京安全衛生教育センター RST
外部講師

矢部 明

三井造船(株)鉄構・物流事業本部技師長
(社)日本橋梁建設協会架設研究委員会委員長

労働衛生関係

上野 邦彦

(社)福島県労働基準協会非常勤講師

岡村 勝郎

岡村労働衛生コンサルタント事務所所長
中央労働災害防止協会東京安全衛生教育センター外部
講師

小川 純一

(財)東日本労働衛生センター理事・環境測定部長
(社)全国労働衛生団体連合会事業推進委員会委員

斎藤 富寿美

前(株)北炭ゼネラルサービス取締役専務

坂井 万三

(社)新潟県労働衛生医学協会教育研修部非常勤講師

鈴木 裕生

アゼアス(株)代表取締役社長
(社)日本保安用品協会常任理事

橘 忠義

和歌山市・海南地域産業保健センターコーディネーター

辻 克彦

大阪府立大学総合科学部教授
中央労働災害防止協会大阪安全衛生教育センター外部
講師

松村 芳美

(社)産業安全技術協会川崎試験所長

松山 須美子

中国電力(株)健康管理医
広島産業保健推進センター産業保健相談員

水野 洋

(社)大阪労働基準連合会非常勤講師

山岡 宏行

岡山快適職場推進センター快適職場推進アドバイザー

吉田 勝美

聖マリアンナ医科大学予防医学教室教授

産業安全及び労働衛生関係

粟野 勲
下関労働基準協会前常務理事

飯島 輝夫
住友電気工業(株)横浜製作所安全環境グループ主査
(社)神奈川労働安全衛生協会本部衛生管理推進委員会委員

池田 悦郎
前田建設工業(株)顧問(労務・安全担当)
産業医科大学前理事

石井 寛二
丸和産業(株)取締役栃木営業所長
日産栃木会副会長

市川 勇
関西ペイント(株)平塚事業所事務部・安全環境グループ課長

一倉 幸司
(社)埼玉労働基準協会連合会前専務理事

市原 利行
広島アルミニウム工業(株)総務部安全衛生担当課長

稲垣 国男
中央精機(株)常務取締役
豊田労働基準協会総務部会幹事・会報編集委員

今村 美樹雄
京セラ(株)鹿児島国分工場環境安全部安全防災課責任者

植西 雅史
(株)京阪装美常務取締役
(社)京都ビルメンテナンス協会副会長

片岡 輝男
片岡労働衛生コンサルタント事務所長
産業医科大学前理事

合浦 彬
岩倉建設(株)苫小牧本店安全管理室次長

金井 孝親
新日本製鐵(株)建材事業部堺製鐵所形鋼部マネジャー
日本鉄鋼連盟鍛造圧延分科会委員

金山 忠幸
大栄総合管理(株)取締役会長
(社)岐阜県ビルメンテナンス協会労務委員会副委員長

川上文男
(社)上北労働基準協会専務理事

菊地 啓志
(株)ニッテツ・ビジネスプロモート北海道課長

近畿地区 THP 推進交流会

黒澤 五夫
日産工機(株)総務部主管
(社)神奈川労働安全衛生協会藤沢支部広報委員会委員

河野 秀清
三菱製紙(株)八戸工場安全衛生管理室担当部長

阪田 良之助
大溝工業(株)代表取締役会長
林業・木材製造業労働災害防止協会滋賀県支部前支部長

佐藤 一尚
(株)石井組総務部次長兼労務課長
(社)宮城労働基準協会仙台支部安全衛生部会委員

佐藤 正義
東亜建設工業(株)安全環境部長

下村 和久
(社)岡山県労働基準協会講師

杉山 俊夫
静岡労働基準協会事務局長

関口 信夫
(株)ボッシュオートモーティブシステム安全・環境部安全健康担当ゼネラルマネージャー
(社)日本自動車工業会安全衛生専門会議委員

瀬戸 孝則
日産車体(株)総務部安全環境グループ主管
(社)日本自動車工業会安全衛生専門会議委員

高野 真人
伊藤・遠藤・高野法律事務所弁護士

竹 中 勉
中央労働災害防止協会大阪安全衛生教育センター外部
講師

田 中 次 男
(社)熊本県労働基準協会専務理事

津 隈 清 二
高圧ガス保安協会九州支部特別検査員

内 藤 義 男
函館どつく(株)函館造船所総務部勤労課安全係長
全国造船安全衛生対策推進本部北海道・東北総支部北
海道支部副支部長

永 井 憲 作
永井安全衛生コンサルタント事務所長

長 坂 優
(社)広島県労働基準協会福山支部事務局長

浜 田 清 守
(株)ナナオ監査室長

東 村 守 康
日本板硝子(株)津事業所 総務部総務グループマネー
ジャー
(社)三重労働基準協会連合会 安全衛生部会委員

彦 坂 計 治
(株)東芝府中事業所総務部総務安全保健担当参事

藤 沢 慎 悟
三菱重工業(株)下関造船所総務部主席
全国造船安全衛生対策推進本部中国総支部山口支部
副支部長

降 幡 豊 彦
アイコクアルファ(株)参事
(社)愛知労働基準協会労働衛生部会委員

古 川 正 信
前日本大昭和板紙東北(株)代表取締役社長
前(社)秋田県労働基準協会理事・(社)日本ボイラ協会秋
田支部長

不 破 利 兼
日本ガード(株)代表取締役社長
(社)全国警備業協会労務委員会委員

外 間 政 吉
前(社)沖縄県労働基準協会副会長

堀 田 憲 康
国立大学法人新潟大学工学部助教授
新潟快適職場推進センター快適職場推進協議会副座長

前 田 守 廣
(株)前田土木代表取締役
岐阜八幡労働基準協会会長

松 山 二 郎
天満労働基準協会専務理事

三 宅 哲 也
(社)岡山県労働基準協会講師

明 星 佐 道 志
(社)兵庫労働基準連合会前専務理事

矢 野 久 也
(社)日本砕石協会宮崎県支部長
矢野産業(株)代表取締役会長

山 口 梅 太 郎
東京大学名誉教授

山 口 輝 昭
林業・木材製造業労働災害防止協会静岡県支部前事務
局長

山 口 政 雄
原子燃料工業(株)熊取事業所安全衛生担当技師長
近畿地区 THP 推進交流会副会長

油 原 偉 雄
(社)竜ヶ崎労働基準協会講師

若 山 重 雄
(株)佐藤船舶常務取締役
港湾貨物運送事業労働災害防止協会神奈川総支部横
浜支部衛生委員長

和 食 重 幸
市光工業(株)安全環境室長
日本自動車工業会安全衛生専門会議委員

4. 工夫・改善・活動事例コンクール表彰

安全・衛生・快適考案部門

本表彰部門は、安全・衛生・快適に関する意識の高揚を図ることを目的に、機械、器具、設備等の製作または改善に関して、作業者が自ら考案した事例を募集し、労働災害の防止または快適職場づくりに役立つ事例を表彰するものです。(掲載は応募順)(平成16年度応募件数 205件)

金賞(3件)

横 岩 忠 純 ほか8名 (株)日本クライメイトシステムズ

空箱移載機

空の通箱を在庫場所から生産ラインに供給する際、4段積みの空箱を2段に積み替え、パレットに載せ替える作業がある。従来は作業者が手作業で行っていたが、肩や上腕部への負担が大きく、空箱の落下の危険があった。そこで作業者がフォークリフト上でリモコン操作することにより自動で積み替えることのできる「空箱移載機」を製作した。この装置を使うことにより、重筋作業を廃止でき、空箱の落下の危険が解消された。

中 野 和 人 ほか3名 (株)住金鋼鉄和歌山

スライド式キャリアローラースタンド装置

焼結鉾を高炉に搬送する工程には、多くのベルトコンベアー設備がある。構成部品の1つであるキャリアローラーは管体部の磨耗等によって頻繁に取り替え作業が必要となるが、取替え箇所の乗り継ぎ部は狭い空間で粉塵飛散の恐れがあり、安全性・作業環境において問題があった。そこでローラースタンドのフレームを2分割し、フレームごと取出してコンベアーの外側で交換作業を出来るようにした。この結果、不安定姿勢による身体上の負担、作業環境の悪い場所での長時間作業が解消された。

谷 村 和 秋、山 口 武 男 トヨタ自動車(株) 高岡工場

運搬台車牽引装置

運搬台車を牽引する際、従来は牽引棒を使用していたが、台車間の間隔が大きいため台車を跨ぐことによる転倒災害・台車間への退避や異常措置による挟まれ災害が発生する恐れがあった。そこで牽引棒の使用を廃止して2本の連結アームの結合からなる「運搬台車牽引装置」を考案した。この装置を用いることで台車間の間隔をゼロにすることができ、牽引作業の安全性が向上するとともに、歩行数が減少し、作業者の疲労軽減に繋がった。

銀賞(7件)

成 田 和 男 (ほか2名)	日立プラント建設(株)	デッキプレート切断装置
大 平 丈 夫 (ほか3名)	JFEスチール(株)スチール研究所	ディスク位置調整用治具
千 葉 富 志 (ほか5名)	日産自動車(株) 栃木工場	楽々外観パレット
後 藤 英 雄 (ほか2名)	(株)デンソー 安城製作所	ステータリード線の皮膜剥離工具
吉 原 勉、伊 藤 秀 明	YKK(株) 黒部事業所	糸玉交換作業の改善
石 川 博 之 (ほか3名)	トヨタ自動車(株) 貞宝工場	回転式フリーバイス
渡 辺 正 美	アイシン精機(株) 刈谷工場	空気圧排気騒音対策

安全衛生活動部門

本表彰部門は、労働災害の防止または快適職場づくりに役立つ安全衛生管理活動に関する工夫・改善について、管理監督者、現場の作業者等が自ら企画し、実践した事例を募集し、効果的で有意義な事例を表彰するものです。(掲載は応募順)(平成16年度応募件数 39件)

金 賞(2件)

鈴木 剛 ほかに9名 松下電器産業(株)松下ホームアプライアンス社エアコンデバイス事業部
甲府工場

ぶどう狩り大作戦(チョコ停低減活動)の展開

本事業場では日常的に発生する「チョコ停」を抽出・改善することにより、安全で快適な職場環境の実現を図るため、チョコ停低減活動を実施している。全チョコ停のリスク調査と改善優先順位の設定を行って、全員参加で設備改善活動(チョコ停登録シールの狩り取り)を推進する。この活動によって、スタッフ全員の安全意識が高まるとともに、チョコ停設備の削減、チョコ停起因による災害の防止に繋がった。

菊池 英 弥 ほかに4名 (株)日立コミュニケーションテクノロジー戸塚事業所

「健康診断事後の全社員面談:ヘルシーカンパニーを目指した積極的健康づくり」

本事業所健康管理センターでは、事業所における産業保健活動の目的を「より元気に働くための支援」と捉えて、所見や自覚症状のない時点から社員の健康管理を行うために、健診後、2~3ヶ月の時点で全社員面談を実施している。面談を行うことで、社員の健康管理意識が高揚し、面談導入前後における健康診断項目の経年変化を調べたところ、複数項目で有意の改善結果が得られている。

銀 賞(3件)

伏見 龍 三 住友金属鉱山(株)別子事業所 安全の達人度
(ほかに7名)

久我口 文 雄 住友金属工業(株)和歌山製鉄所 危険作業を排除し安全に仕事を進める改善活動
(ほかに5名)

山田 鐵 馬 トヨタ自動車(株)三好工場 保全マンの安全人間づくり
(ほかに3名)

(別記)顕功賞基金寄附者御芳名

武田晴爾(元厚生省産業安全研究所所長)、前田 一(元中災防理事長)、高野喜義(株)重松製作所社長)、三戸旭(協和発酵工業(株))、蒲生順子、大瀧四士夫(元中災防専務理事)、重松キン、伊藤一郎(元(社)全日本産業安全連合会副会長)、斎藤光雄(光洋精機(株)社長)、岩田照良(元中災防専務理事)、酒井義次郎(興研(株)会長)、北川俊夫(元中災防理事長)、藤井 勉(藤井電工(株)取締役社長)、斎藤太増光(光洋精機(株)代表取締役)、小林和三(日本電工(株)取締役社長)、菅谷 節(ダイダン(株)取締役社長)、(財)京都工場保健会、松村元子(ミドリ安全(株)代表取締役会長)、椎谷 正(前中災防理事長)

(順不同、敬称略、所属等は当時のもの)